

課題 4 「使用過程の自動車の安全の確保及び環境の保全のためにメーカーが担うべき役割」について

1. とりまとめ方について

課題 4 に係るとりまとめについては、以下の通り整理することとしたい。

- (1) 使用過程の自動車の安全の確保及び環境の保全のための関係者の役割について、基本的な認識を示す。
- (2) 課題であるメーカーが設計時に想定していなかったような使用や保守管理が行われ、それが原因で不具合が発生した場合の対応について、メーカーを中心に関係者の担うべき役割を提案する。

2. 関係者の役割についての基本的認識

3. の課題を検討するに当たり、その前提となる自動車の安全の確保及び環境の保全のためのメーカー、ユーザー及び国の役割についての基本的な認識は以下の通りである。

(1) メーカーの役割

市場に自動車を提供する場合は、国が定める自動車の安全・環境基準(以下「保安基準」という。)に適合した安全な自動車を提供する。

自動車の適切な使用方法に係る情報をユーザーに適切に提供する。

自動車の点検整備を実施する上で必要な技術的な情報をユーザー及び整備工場等に適切に提供する。

製品を市場に提供した立場として、市場における自動車の使用状況、事故情報及び不具合情報を収集する体制を整備し、収集した情報により、市場監視を行う。

市場監視等により、一定の範囲の自動車において事故や火災につながる可能性がある不具合が発生している又は発生するおそれがあることを把握した場合であって、その原因が設計・製作にあるときは、迅速・的確な改善のための措置を行う。なお、不具合の原因が設計・製作にあるかどうかを判断する際は、設計・製作時に想定した使用方法、使用環境及び保守管理が、その当時の使用実態や、当然に予想された使用実態の変化に対応したものであったかどうか、ユーザーに対して適切に情報提供していたかを検証する必要がある。

改善措置を実施する場合には、国土交通省に改善措置の実施を届出るとともに、ユーザーに通知を行う。また、国土交通省に実施状況の報告を行う。

市場監視により設計、製作及び保守管理情報の問題点が明らかとなった場合には、新たな自動車の開発や保守管理情報の設定の過程にフィード

バックし、必要な改善を行う。

(2) ユーザーの役割

自動車を点検整備によって保安基準に適合するよう維持する義務がある。具体的には義務付けられた日常点検整備、定期点検整備、継続検査の受検を行うほか、自動車メーカーや国土交通省から提供される情報を基に、適切な使用や保守管理を責任を持って行う。

メーカーからの改善措置の通知に対応する。

(3) 国の役割

交通事故の発生状況や技術の進歩等を踏まえ、保安基準や定期点検基準の見直しを行う。

型式認証や新規検査によって、新車時の自動車の保安基準適合性の確認を行う。

使用過程の自動車保安基準に適合しているかどうかを確認する継続検査(いわゆる車検。)を定期的実施する。

自動車の点検及び整備に関する手引きの作成・公表とユーザーの保守管理意識の高揚を行う。

リコール制度の整備とその適切な運用の確保を行うとともに、必要に応じて制度の見直しを行う。

市場における自動車の不具合情報等の収集・分析を行い、市場監視を行う。

監査や調査指示を行い、メーカーにおける原因究明や最終的な措置の検討が適切に行われているかを監視するとともに、必要に応じて改善措置を講ずるべきことを勧告する。

メーカーが改善措置を実施する際の措置内容の確認、報道発表及びメーカーへの自動車登録情報の提供、改善措置の実施状況の確認を行う。

継続検査時に改善措置未実施車両に対し、注意を行う。

3. 課題

自家用乗用車における継続検査時以外の定期点検の実施率が4割程度にとどまっていたり、自動車の平均使用年数が年々長くなるなど、自動車の使用方法や保守管理方法に関してユーザーとメーカーに認識の差が生じていると考えられ、メーカーが設計時に想定していなかったような使用や保守管理(以下、「想定外の使用等」という。)が行われている。

現時点で、想定外の使用等によって、危険な不具合が頻発する等の問題が顕著になっている訳ではないが、今後、更に想定外の使用等が拡大すれば、それによる危険な不具合が増え、問題が顕在化することが懸念される。

したがって、以下の、のような想定外の使用等による不具合の発生に対する関係者の対応のあり方について検討すべきである。

設計・製作時点からの時間経過による使用状況の変化

【具体例】

ア) 使用年数の長期化

イ) 想定外の環境での使用

- ・ 融雪剤散布量の増加、散布地域の拡大
- ・ 高速走行比率の増加
- ユーザーによる不適切な保守管理等

【具体例】

ア) 保守管理が極めて不十分なケースの存在

4. 課題への対処方針(案)

3. の課題に対して、2. の関係者の役割の中で重要なもの及びメーカー等が担うべき新たな役割について以下の視点で検討を行う。

- (1) 不具合の発生を防止するためには何が必要か。
- (2) 不具合が発生した場合にはどのような対応が必要か。
- (3) (2) の対応を円滑・速やかに行うには、各関係者においてどのような体制が必要か。

(1) 不具合の発生を防止するためには何が必要か。

想定外の使用等が発生する原因は、メーカーが設計・製作を行った時点からの時間的経過により、ユーザーの意識の変化や自動車の使用環境の変化が生じる等により、メーカーにおける設計時の想定との間に差が生じるためと考えられる。

【想定外の使用等の発生原因の推定】

- 使用年数の長期化：主要装置の耐久性の向上、車に対する価値観の変化(単なる移動手段)、景気の停滞 等
- 融雪剤散布量の増加、散布地域の拡大：スパイクタイヤの使用禁止(平成5年)
- 高速走行比率の増加：高速道路網の整備の拡大等
- 保守管理が極めて不十分なケースの存在：主要装置の耐久性の向上、ユーザーの保守管理意識の低さ 等

この差を縮めるか又はその差による不具合の発生を防止するためには、メーカーによる以下の取り組みが有効と考えられる。

ア) メーカーが設計時に想定した使用方法や保守管理方法のユーザーへの情報提供

メーカーが設計時に想定した使用方法や保守管理方法について、販売時にユーザーに確実に情報提供する。

具体的には、以下のような情報提供を行うことが考えられる。

【提供する情報の例】

- ・ 長期使用する場合の注意点（部品毎の交換時期、重点点検項目等）
- ・ 寒冷地で使用する場合の注意点（重点点検項目等）
- ・ 高速走行が多い場合の注意点（重点点検項目等）

【確実な情報提供方法の例】

- ・ 取扱説明書の記載方法の見直し（読みやすく、分かり易いものに）
- ・ 重要事項をまとめた冊子等の作成
- ・ 販売時の丁寧な説明

イ) 想定外の使用等が行われた場合の注意喚起

既に販売した自動車について、少なからずのユーザーにより想定外の使用等が行われており、それが不具合の発生原因となる可能性があることをメーカーが認識した場合には、ユーザーに対して、想定外の使用等を行う場合の危険性や対処方法について具体的に注意喚起を行う。

(2) 不具合が発生した場合にはどのような対応が必要か。

実際に、想定外の使用等により不具合が発生した場合の対応のあり方については、(1)ア)イ)のようなメーカーによるユーザーへの情報提供が予め適切に行われていたかによって変わると考えられる。

ユーザーへの情報提供が適切に行われていなかった場合

メーカーによる(1)ア)イ)の取り組みが適切に行われず、特定の型式の一定の範囲の自動車に事故や火災につながる可能性がある不具合が発生した場合には、メーカーは速やかに何らかの改善措置を実施すべきである。

ユーザーへの情報提供が適切に行われていた場合

一方、メーカーによる(1)ア)イ)の取り組みが適切に実施されていたにも関わらず、実際には、保守管理・使用が適正でないために事故や火災につながる可能性がある不具合が発生している場合には、基本的にユーザーの責任で改善が行われるべきであるが、少なくともユーザーに対する不具合発生とその防止方法に関する注意喚起を行うことが必要であり、その役割は、市場に自動車を提供し、その自動車について最も情報が集まるという立場を踏まえ、メーカーが担うべきである。

、 の両方の場合について、ユーザーは、メーカーからの改善措置の通知や注意喚起に対して、適切に対応するべきであり、特に事故や火災に至る危険性が高い不具合については、迅速に対応するべきである。

なお、メーカーによる改善措置の通知や注意喚起においては、ユーザーが対象不具合の危険度を認識できるようにするべきである。

また、国においても、2.(3) ~ の役割を確実に果たすとともに、メーカーが注意喚起を行う際に、メーカーと協力して、ユーザーへの迅速な注意喚起を行う等によりユーザーによる適切な使用や保守管理の実施を促すことが必要である。

また、不具合が発生した場合の危険性をできるだけ小さくすることも重要であり、メーカーにおける設計時に、想定外の使用等による不具合が発生しても、急激に危険な状態とならないような構造（安全に壊れる構造）にすることも有効である。

(3) (2)の対応を円滑・速やかに行うには、各関係者においてどのような体制が必要か。

関係者がそれぞれの役割を限定的に認識すれば、責任関係が明確でないような場合の対応が困難となり、現実にかかる様々な安全上等の問題（往々にして役割分担の境界で起こる。）に対して適切、迅速に対応することが困難となる。したがって、自動車の危険な不具合による被害を防止するために理想的な役割分担を実現するためには、関係者がそれぞれの役割を拡大的に認識し、行動する関係をつくることを目指すべきである。